

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

2026～2027年度RI会長メッセージ

WEEKLY REPORT

JULY.8.2026 第2191回

UEDA EAST 上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長／田守正彦 幹事／水出博史 会報委員長／柳澤 誠

例 会：毎週水曜日 午後12:30～1:30

会 場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

U R L: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>

E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

役員・理事・各委員長 就任挨拶

(7月1日・8日)

■直前会長

山寺 高太郎君



会長の基本方針やクラブテーマを伺って「いいね!」と思いつつ、クラブの一会員としてできる範囲でゆっくりと支えていこうと思っています。それにつけても会員の席はなんとリラックスできることでしょう。

■会長エレクト

飯島 洋一君



会長エレクトとして、田守会長をお支えしながら、東クラブの活動を盛り上げていきたいと思っています。1年の中で諸々課題や対処すべき事柄があるかと思いますが、都度、田守会長がどのような判断をされるのかを学びながら自身も勉強していこうと考えています。

■副会長（クラブ奉仕）／青少年育成事業実行委員長

工藤 恒君



田守会長（田守丸船長）と水出幹事（田守丸航海士）をお支えし、クラブ奉仕という帆を張ってまいります。会員の皆様には、その帆綱を一緒に引いて頂きたく、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

青少年育成基金申請事業実行委員会としては、田守会長の肝いりである、田守丸の帆の一つ「大学を探索し、繭で作品を作ろう」の事業を、会員の皆様と一緒に、青少年の皆さんに上田の産業を知って頂く機会として、しっかりと行なってまいります。

■副会長（奉仕委員会）

竹花 強君



田守会長とは同世代でありますので、心のサポートと共にロータリーについて学んでいきたいと思っています。職業、青少年、社会及び国際の各委員長の皆さんとコンセンサスを取りながら進めて参ります。

■会計

蓑輪 佳明君



財務大臣を拝命しました蓑輪佳明です。お役人の最高位は財務事務次官（年収2500万程度）、上田東RCにおいては中村事務局のお仕事にそれが該当するのかな。国は莫大な借金をし政策を実現している

ようですが、わがクラブは無借金状態であります。皆さんからいただいた会費を社会のため、会員・家族のために使わせていただきますので、宜しくお願いいたします。

■SAA

増田 篤子君



委員会活動を通し、RCの一の柱である「親睦」の充実を図りたいと思います。また、例会の食事は物語性を持った献立にし、出席・会場・プログラム委員会と連携しながら、楽しい円滑な例会運営を目指します。

■職業奉仕委員長

関 邦幸君



今年は日程の都合で松茸例会の予定がなく、職場訪問は会長の希望で信州大学繊維学部を見学する予定です。ほかに職業奉仕委員会として活動すべきご希望がありましたら、お知らせください。

■社会奉仕委員長

丸山 浩治君



（2年続けてのお役です）昨年度は例会に出る事があまり出来ず、委員会活動もなかなか出来なかったのですが、今年度は継続活動に少し力を入れていきたいと思っています。

委員会構成は歴代会長の方ばかりなので偉大な先輩方からお尻をたたかれながら頑張ります。

■国際奉仕委員長／R財団委員長

塚田 泰裕君



世界情勢が不安定の昨今ですが、インバウンドの方が大勢日本にお越しになられております。身近なインバウンドの方へのおもてなしや、困られている方への補助等、会員の方と共に進めていければと思います。ポリオ撲滅等は継続して進めながら、世界の人とのつながりを大切に築いて、世界平和に少しでも貢献できたらと思います。

■会員増強・職業分類・会員選考委員長

中嶋 大介君



会員増強とは、単に人数を増やすことではなく、お互いを知りつながり深める事によって「このクラブに入ってよかった」「知人にも勧めたい」と思っていたけるような、魅力あるクラブづくりが何より大

切だと考えています。皆様のお力添えをいただきながら一人でも多くの仲間とのご縁を広げていけるよう努めてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

■副幹事

舟見 哲也君



このたび、副幹事を仰せられました舟見です。

不慣れのため、ご迷惑おかけするかも知れませんが、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



※そのほか、水出博史幹事、玉井プログラム委員長、柳澤誠R情報・広報・会報・デジタル化委員長、橋詰洋平出席・会場・ニコBOX委員長、久保親睦活動・友好クラブ委員長、母袋卓郎青少年奉仕副委員長、蓑輪米山奨学副委員長よりご挨拶がありました。

例会 日誌

7月8日(水) 晴れ

2026～2027 No.2

●司 会 丸山浩治君

●斉 唱 「我等の生業」

●ラッキー賞 丸山浩治君(季節のアレンジ花)

●友 愛 賞 母袋卓郎君(山寺直前会長より梔子ヴィンヤードのワイン)

■会長挨拶

田守 正彦 会長



皆さん、こんにちは。先週の終わりの点鐘で、軽率な点鐘をしてしまい、大変失礼いたしました。不快に思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？以後真摯に向き合いたいと思います。

本日は、毎週何気なく行っている「点鐘」について、お話ししたいと思います。

例会は、会長の点鐘で始まり、点鐘で終わります。しかし、この点鐘にはどのような意味があるのでしょうか。まず、この点鐘は、いつ・どこで始まったのでしょうか。実は、はっきりと「この日、この場所で始まった」という記録は残っていません。しかし、1905年にアメリカ・シカゴでロータリーが誕生した当時、欧米では会議や学校、証券取引所などでベルを鳴らして開始や終了を知らせる習慣が広くありました。ロータリーでも、その自然な流れの中でベルが使われるようになり、やがて世界中のクラブに広がっていったと考えられています。つまり点鐘は、特定の規則から生まれたものではなく、ロータリーの歴史とともに受け継がれてきた伝統なのです。

私は、この点鐘は単なる開始や終了の合図ではなく、「心を切り替える鐘」だと思っています。ベルが鳴った瞬間、私たちは仕事や家庭での役割から少し離れ、一人のロータリアンとして、この例会に心を向けます。ここでは親睦を深め、互いを知り、奉仕について学び、地域や世界のために何ができるかを考える時間が始まります。そして閉会の点鐘は、「これで終わり」という合図ではありません。例会で得た学びや友情を、それぞれの職場や家庭、地域社会で実践する、新たな一歩の始まりを告げる鐘でもあります。

今年、上田東RCでは「お互いを知る」を大切なテーマに掲げています。点鐘の音を聞いたら、「今日は誰のことを知ろう」「今日は誰と語り合おう」と、一歩踏み

出すきっかけにいただければ嬉しく思います。私はこんな言葉が心に浮かびます。「鐘は人を集めるために鳴るのではなく、人の心をつなげるために鳴る」これはロータリーの公式な言葉ではありません。しかし、私は点鐘には、まさにそのような意味が込められていると感じています。毎週鳴り響く一度のベル。その音には、100年以上受け継がれてきたロータリーの伝統と、私たち一人ひとりの奉仕への決意が込められています。

私は、この点鐘は、「一週間に一度、自分をロータリアンに戻してくれる鐘」なのだと思います。今日もこの鐘の音とともに心をつなげ、実りある例会にしましょう。ありがとうございました。

■幹事報告

水出 博史 幹事

- ・7月のロータリーレート 1ドル=162円 (←159円)
- ・RYLA in 佐久のご案内が届く。 9月12日(土)
- ・第1回クラブ サポートミーティングのご案内が届く。
7月14日(火) オンラインにて

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	49	18	—	63.27%
前々回	52	49	16	8	83.67%

ニコニコBOX

(敬称略)

石井、上原、工藤、久保、倉島、神津、後藤、小林、塩之入、春原、関、竹花、田守、塚田、手塚 (た)、中嶋、橋詰 (洋) 舟見、水出、蓑輪、宮澤、母袋 (創)、母袋 (卓)、柳澤亨、柳澤誠、山寺、渡辺

※母袋卓郎君／おかげさまで6月24日長女に無事男の子が生まれました。4人目の孫です。

※母袋創一君／私の身内が東京中央線にバックを置き忘れましたが、八王子駅で無事戻りました。善人の日本、最高！

※久保友幸君／食品ロス削減ご協力有難うございました。

※工藤 恒君／昨日は川の日とか。今日、笹を飾りました。

※神津 健君／暑くなってきました。皆さん水分補給を忘れずに！(神津さんは50℃までは耐えられるそうです。アフリカ在住の経験から。)

本日の金額／39,000円 累計／120,000円

[次週のプログラム]

7月22日(水) 休会 29日(水) グループディスカッション